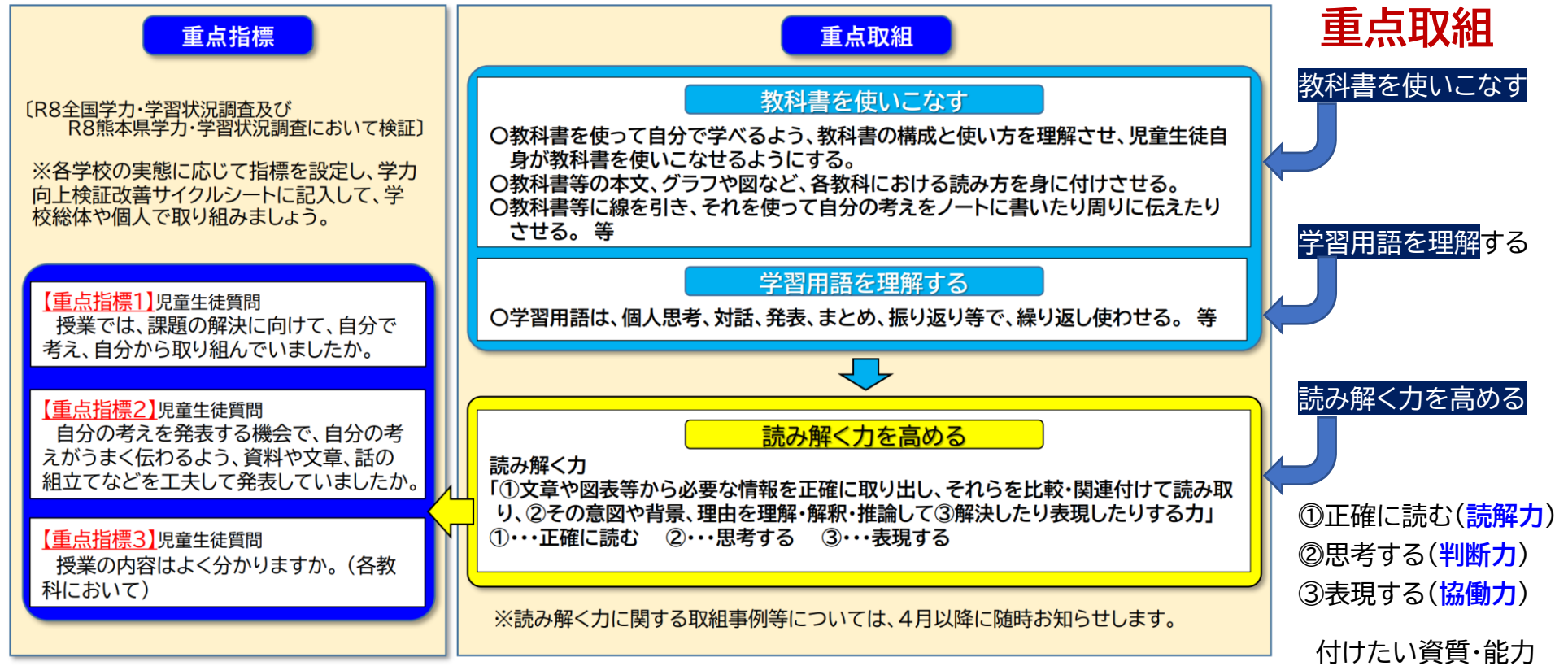


令和7年度の熊本県学力・学習状況調査結果から見えてきた課題を改善するために熊本県教育委員会から重点指標及び重点取組が示されました。目標は、誰一人取り残さない学びの保障と「児童生徒を学びの主体」とする授業力の向上を図ることです。

課題の改善に向けた重点指標及び重点取組

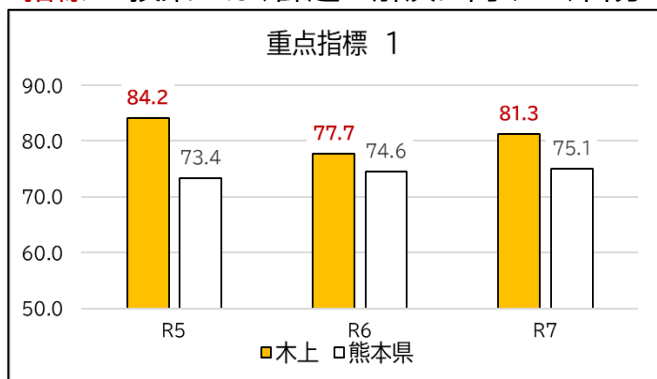
目標：誰一人取り残さない学びの保障と「児童生徒を学びの主体」とする授業力の向上を図る。

【次の検証(R8全学調・県学調)へ向けて、各学校で重点的に取り組むこと】



重点指標

指標1 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思いますか1.



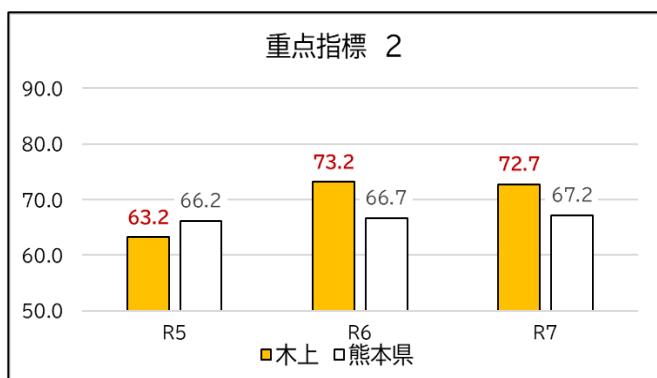
児童の活動:教師の指示・発問等=7:3

先生が話し過ぎると子どもは「聞けばいい」と思ってしまいます。逆に、少し考える問いかけをすると、子どもは自然と頭を動かし始めます。

課題提示のコツは、「子どもが“自分ごと”として受け取れる問いにすること」です。子ども自身が“考えざるを得ない状況”をつくると、自然と主体性が生まれます。

子どもに学習を委ねるのは、がまん力。

指標2 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していると思いますか



発表は自分の考えを伝える場であると同時に、他者と考えをつなぐ場であることを意識

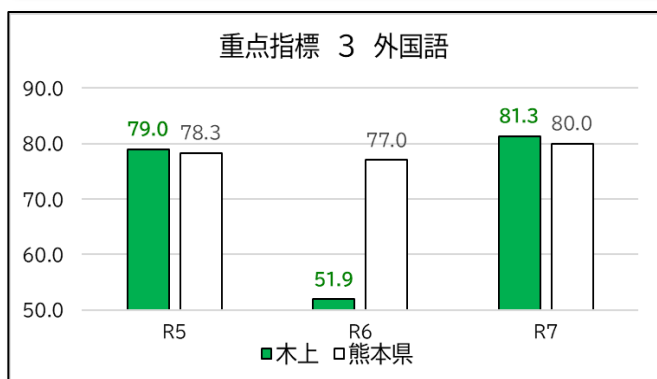
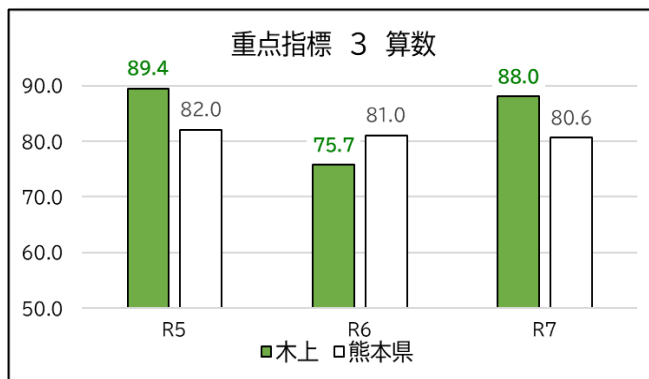
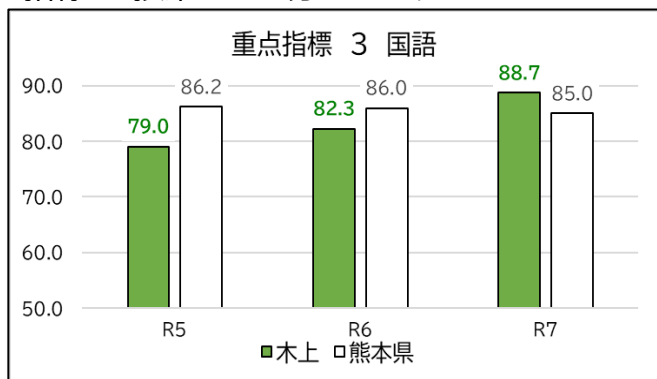
この視点があると資質・能力が自然に育ちます。

判断力:聞き手に合わせて何をどう伝えるか選ぶ

読解力:資料や情報を読み取り、必要な内容を整理する

協働力:聞き手の反応を踏まえて、伝え方を調整する

指標3 授業はよく分かりますか



1 単元デザインの工夫

- ① 単元のゴールを意識
- ② 文章への出会わせ方

2 授業デザインの工夫

- ① 「問い」や「見通し」をもたせる
- ② 教科書の言葉に着目して読ませる
- ③ 自分の考えを他者と共有する
- ④ 学んだことを再構築する